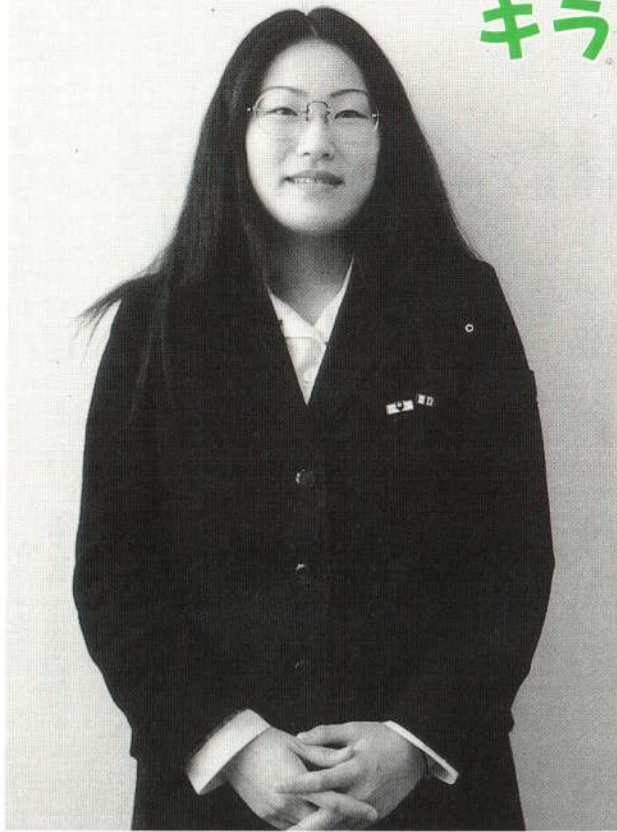


# キラットさん



大館鳳鳴高校 3年

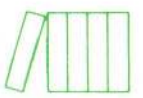
## 松岡 瞳さん



「日本舞踊は私の体の一部みたいなものです」と話す松岡さんに今回登場していただきました。彼女は森吉町米内沢出身。現在は学校近くに下宿して通学しています。「体の一部」という日本舞踊は、母がしていたため、物心が付いたときには自然に習っていたとのこと、いつから始めたのかはわからないそうです。母のお腹にいたころから音楽を聞かされていたようで「胎教として、生まれる前から体に染みついていました」と話してくれました。母からは「二歳のときに県民会館で踊ったのよ」と聞かされたそうですが、そのことは記憶にないようです。「日本舞踊の魅力は「踊り分け」とのこと。踊るとき、男、女、大

人、子供などでいろいろと表現が違います。踊り分けとは、それを踊りでどう表現するかということ。今までは教えられたとおりこなしていたのですが、最近自分でも考えるようになり、踊り方に深みがでてきたようです。これからさらに追及していかなければならないという、奥の深いところがあり、それが魅力なのだそうです。と同時に、それが日本舞踊の難しさでもあるようです。

取材したのはちょうどテスト期間中。「試験勉強のじやまをしてしまいましたね」と話したところ「私、頭で覚えなければならぬのは苦手なんです。だから気にしないでください」と、笑いながら答えてくれました。「踊りは体で覚えるもの。頭で覚えようとしても、逆にぎこちなくなってしまう。だから日本舞踊は私に合っているんです」と。また、今までは日本舞踊をしていることを人に隠していたようですが「今はこれが自分だと思えるようになりまし」と、隠すようなことはなくなりました。日本舞踊は間違いなく彼女の体の一部になっています。私の性格は人見知りしないことという彼女。そのとおり、終始笑顔で取材に応じてくれました。卒業後は、家元のある県内に就職し、さらに磨きをかけて、将来にわたって踊りにたずさわっていききたいとのことでした。



## 私の本棚

中央図書館新着図書



### 『大川の一滴』

五木 寛之 著  
幻冬舎

人生は苦しみと絶望の連続だ。その覚悟が定まったとき、真の希望と生きる喜びが訪れてくる。「歎異抄」の心を現代に問う衝撃的告白的メッセーシ。NHK「ラジオ深夜便」で反響のトクエッセイも収録。

### 一般書

- ◇突破者烈伝(宮崎学) ◇九〇この〇(岩田宏) ◇きみと代わる日(唐十郎) ◇夢時計上・下(黒井千次) ◇甘辛しゃん(宮村優子) ◇イントラネットクーデター(江波戸哲夫) ◇母に襤褸をあてるとき(梶添要一) ◇鄙の記憶(内田康夫) ◇血と骨(梁石日) ◇候爵サド婦人(藤本ひとみ) ◇宣戦布告上・下(麻生幾) ◇高円寺純情商店街哀惜篇(ねじめ正一) ◇びつくり(中川智子) ◇粋で野暮天(出久根達郎) ◇ラスト・サンクチュアリー(クレイグ・ホールデン) ◇監禁(ジェフリー・ディーヴァー) ◇アメリカン・タブロイド(ジェイムズ・エルロイ) ◇甲辞(新藤兼人) ◇システムという名の支配者(チャールズ・A・ライク) ◇中国55の少数民族を訪ねて(市川捷護ほか) ◇天災たちの不思議な物語(桐生操) ◇心がやすらぐヒーリング・メッセーシ(神尾恵利子) ◇高齢者の介護食べさせ術(田中弥生) ◇やさしさ病棟(徳永進) ◇子どもの本の森へ(河合準雄ほか) ◇砂の海(椎名誠) ◇志賀直哉の動物随想(志賀直哉) ほか

### 児童書

- ◇鬼のおくりもの(金田喜兵衛) ◇ないしよのゆきだるま(角野栄子) ◇かぎばあさんとうる一人のボク(手島悠介) ◇半分のおまつり(海老名香葉子) ◇ともだちや(内田麟太郎) ◇すたすたかたつむり(あきやまただし) ◇おさじさんのたび(松谷みよ子) ◇十二支のはじまり(岩崎京子) ほか
- ◇6月のテーマ関連図書コーナー・・・『サッカー・ワールドカップ』
- ◇6月の親子読みきかせ会・・・5日(毎月第一金曜日) 14時30分から
- ◇6月の中央図書館の休館日・・・21日、25日